

科目番号	52031	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース	学年
科目名	助産診断・技術学特論 (Advanced Midwifery diagnosis and technology)					1
						配当シスター 前期
担当者	○橋本 美幸、高橋 純、武山 茂 小松 久人、岡田 研吉 たつの ゆりこ、臼井 いづみ 高村 ゆ希、小嶋 奈都子	区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	3 時間数 60
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連	
【概要および目標】 医学・助産モデルの両方の視点から助産診断・助産ケアを可能にする発展的・応用的な知識と技術について学習し、実践力の強化を図る。助産ケアに関する課題や問題について、考察し、自分の考えを述べることができる					○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力
1) 超音波検査の操作技術の習得と妊娠期・産褥期の超音波画像の基礎的評価能力の修得ができる。					○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力
2) 会陰切開・裂傷縫合の基本的知識について理解できる。					○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力
3) 新生児の救急蘇生に対応するための知識と技術を修得する(NCPRのライセンス取得)。					○	4.周産期の救急時に対応できる能力
4) 東洋医学や代替医療を用いた助産ケアに役立つ理論と実技について学ぶ。					○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力
5) 周産期医療チームの連携について理解する。					○	6.研究・開発能力
6) 災害時における助産師の役割について学ぶ。					○	7.倫理的意思決定能力
授 業 計 画						
回	内 容					担当教員
6回	超音波検査法 総論：超音波検査の原理と操作法などの基礎、臨床上の意義 妊娠各期の超音波検査所見 妊娠期の超音波所見(演習) 膣エコー所見					武山、小松
5回	会陰縫合 産科麻酔 生物生体での実習(学内)					高橋 高橋
2回	東洋医学—産前産後の漢方—					岡田
4回	東洋医学とアーユルヴェーダ 産褥期の女性の心身の特徴と問題点 「冷え」に関する考え方とケアの実際					たつの
2回	ハイリスク新生児の看護、NICU					成育医療研究 医療センター 看護師
2回	TeamSTEPPS—パフォーマンスを高めるために必要なスキル—					臼井
2回	災害と助産					高村
6回	助産ケアの課題に関する討論(いずれかのテーマを選択し、演習を行う) 1)倫理的助産ケア、自己決定支援について 先天異常の疑いがある児の親が抱える医学的、社会的・倫理的問題について(ディベート) 2)ペリイネイタルロス 3)産科的医療事故の防止を目的とした産科医療保障制度の報告書分析					小嶋、橋本
2回	新生児の救急蘇生 NCPR (A コース)					愛育病院
事前・事後学習	事前学習：テーマに関連した文献を収集し、討論のための基礎的知識について予習すること。 事後学習：技術については各自自己練習を行うこと。 単位と時間数に応じた学習時間(学生便覧参照)を参考に取り組むこと。					
評価の方法	実技試験：超音波・縫合 25%、筆記試験：超音波、縫合 25%、 討論およびレポート：適宜(50%)により総合的に評価する。 フィードバックは適宜行う。					
参考図書・資料等	適宜、提示する					
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。					